

キャラクター名
一守 龍児 いちもり りゅうじ

プレイヤー名

シンドローム	ブラム=ストーカー キュマイラ	ワークス	高校生	カヴァー	高校生
オプション		年齢	17	性別	男
覚醒	償い	衝動	自傷	初期侵食率	41 %
出自	名家の生まれ	経験	大事故	邂逅	友人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	51
肉体	4	1	0			5	行動値	5
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	5
精神	1	0	0			1	戦闘移動	10
社会	1	0	0			1	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	2		交渉		
回避	1		知覚	1		意志	7	1	調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:噂話	1	6
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の一品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
継承者	P	N		
救助者	P 尊敬	N 憎悪		
敷島あやめ	P 友情	N 不安		
坂上愛花	P 好意	N 悔悟		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2 残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイトブラム	2	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果:	C値-Iv。下限7							
渴きの主	1	4	メジャー	至近	単体	白兵	-	
効果:	装甲無視。命中時はHPをIv×4回復。							
軍神の守り	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	カバーリングを行う。1回/メインプロセス							
破壊の爪	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	攻+8+Ivに素手変更。							
ハンティングスタイル	1	1	マイナー	至近	自身	自身	-	
効果:	戦闘移動。離脱可能。Iv回/シーン							
イージスの盾	4	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	ガード時に宣言。ガード値+Iv D							
完全獣化	1	6	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	肉体判定ダイス+Iv+2。シーン持続。							
不死者の恩寵	1	5	クリンナップ	至近	自身	自動	-	
効果:	Iv+2 D +肉体 HP回復							
犠牲の血	1	3	オート	視界		自動	120	
効果:	範囲、範囲選択を自身1人に変更、装甲+10 Iv回/シナリオ							
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

一守家に生まれた男児。
幼い頃から祖父や父より、我が一族は選るといと尊き御方、天上人の守りを一手に担っていた誉高き一族だったと聞かされて育った。それこそ耳にタコができるほど繰り返し聞かされ、いつも決まって最後には、龍児も誰か大切な人を守る強い男になりなさいと締め括られた。祖父、父の熱心な言い聞かせの結果、彼らの話を胡乱げに聞きながらも、心の奥底ではいつか大切な人が出来た時には、何があっても守り通すと思っていた。

中学入学。それは彼にとって転機だった。同じクラスになった坂上愛花。仲良くなったきっかけはごくありふれた些細なものだった。しかし気づいた時には、彼女と過ごす時間は次第に何物にも変え難い宝物となっていた。そして、自分は彼女に恋をしているのだと自覚する。彼女に想いを告げる勇気もなく、ただだからといって諦めることもしたくなく。漫然と幸せな時間を過ごしていた。

中学卒業間近のあの日、幸せな日々が唐突に無慈悲にひび割れた。たまたま彼女と乗ったバスが重大事故を起こし、未だに彼女は入院生活を続けている。……そんな傍らで、己は五体満足に日々を過ごしている。あの日から2年。彼女への想いは消えていないが、それよりも悔悟の念が膨れ上がり、己を苛んでいる。決してその想いを外に出すことはしないが、日々の色は色褪せて見えてしまっている。自分にできるのは、お見舞いぐらいしかない。彼女を見る度に、愛情とそれ以上の悔悟が己を苛むとしても、彼女の下から離れることは出来ない。これは償いなのだから。

補足